

霧島市議会 中継 検索

霧島市 市民の声を市政に

22人がより良い市政を目指して

一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、22人の議員が一般質問を行いました。掲載内容は、各議員本人が質問と答弁を要約したものです。すべての質問と答弁は、市議会ホームページの録画中継やYouTubeで視聴できます。

議員顔写真下の二次元コードを、スマートフォンのQRコードリーダーで読み取ることで、一般質問の録画中継がYouTubeでご覧いただけます。

問 電柱移設については、地元からも要望があり、関係者とともに現地調査を行った。電柱移設をすることで、通行する車両の速度が高まることや歩行者への接触が予想



市道清水2号線

問 市道清水2号線の通学路の区間に、三差路が2か所あり注意が必要である。電柱の移設や白線、交差点マーク等で通学路の安全対策はできないか。



蔵原 勇 議員
動画視聴

通学路の安全対策を万全に

答 電柱移設については、地元からも要望があり、関係者とともに現地調査を行った。電柱移設をすることで、通行する車両の速度が高まることや歩行者への接触が予想

問 河川の寄洲除去、大型機械を用いた除草などの維持管理はできないか。
答 県が実施する寄洲除去は、緊急性の高い所から対応している一方で、多くの要望があることや費用がかかることから大変苦慮されている。また、除草等についても、治水上支障がある所を優先して実施しているほか、河川アダプト制度など地域住民の協力も得ながら取り組まれている。河川の適正な維持管理について、引き続き県へ要望していきたい。

問 河川の寄洲除去、大型機械を用いた除草などの維持管理はできないか。
答 県が実施する寄洲除去は、緊急性の高い所から対応している一方で、多くの要望があることや費用がかかることから大変苦慮されている。また、除草等についても、治水上支障がある所を優先して実施しているほか、河川アダプト制度など地域住民の協力も得ながら取り組まれている。河川の適正な維持管理について、引き続き県へ要望していきたい。

される。今後にも必要な安全対策について検討していきたい。

Wi-Fi整備で市民サービスの向上を



山田 龍治 議員
動画視聴

問 本市施設のWi-Fi設置状況はどうか。また無料Wi-Fiの整備を進める考えはあるか。
答 本市では、無料Wi-Fiを12か所の観光施設に設置している。無料Wi-Fi整備については、先般、電算システム管理運営委員会において協議を行った。今後、セキュリティ対策などの課題解決を図りながら、本庁舎内には来庁者向け無料Wi-Fi設置を検討していく。

問 本市は、地震等のほかに火山災害も想定され緊急的かつ長期的対応が必要になることもあり、平常時から利用できる固定式アクセスポイントの設置が有効であると考えている。
答 本市は、地震等のほかに火山災害も想定され緊急的かつ長期的対応が必要になることもあり、平常時から利用できる固定式アクセスポイントの設置が有効であると考えている。

問 避難所へのアクセスポイントの設置と災害対応型アクセスポイントについて、整備の考えはあるか。
答 本市は、地震等のほかに火山災害も想定され緊急的かつ長期的対応が必要になることもあり、平常時から利用できる固定式アクセスポイントの設置が有効であると考えている。

問 働き方改革を推進する上で重要と考えていることから、情報通信基盤の整備状況等を踏まえ、前向きに誘致に取り組んでいきたい。

サテライトオフィス及びテレワークの推進で産業振興を

問 サテライトオフィス及びテレワークによる企業誘致、業務誘致を取り組む考えはあるか。
答 働き方改革を推進する上で重要と考えていることから、情報通信基盤の整備状況等を踏まえ、前向きに誘致に取り組んでいきたい。

問 建て替えの概要と、新しい住宅使用料はいくらになるのか。
答 田口団地、松瀬団地、大窪団地の3団地の集約

霧島市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正

は基準内の繰入金である。使用料の見直しを20年間行っていないので、一気に上げるのではなく、経営戦略の中で、10年掛けて段階的に値上げをし、基準内の繰入れにとどめるために、料金設定をどの程度にするかという点と、市民だけに負担を強いるのではなく、電気代や薬品代等も含めて民間委託し、コスト削減ができればと考えている。



完成した田口団地

をした統合団地で8戸となる。使用料は所得によって変わるが、2DKタイプが約1万9000円から、3DKタイプが約2万4000円からと

文教厚生常任委員会

- ◎平原 志保 山口 仁美 鈴木てるみ 徳田 修和 飯屋 国治 池田 守 前川原正人 ◎委員長 ○副委員長

審査した議案・陳情を掲載しています。

- 議案第105号～112号 指定管理者の指定について 全会一致で可決
(溝辺崎森地区公民館、国分総合福祉センター、隼人総合福祉センター、牧之原老人憩の家、国分障害者福祉作業所、隼人障害者福祉作業所、障害者福祉作業所わかば、霧島保健福祉センター、溝辺ふれあい温泉センター、横川健康温泉センター、霧島温泉健康増進交流センター)
- 陳情第5号 75歳以上の医療費負担の原則2割化に反対する陳情 賛成多数で採択



溝辺崎森地区公民館

溝辺崎森地区公民館を指定管理へ
溝辺崎森地区公民館の管理運営を、当該地域住民で構成する西原地区自治公民館を指定管理者として直接指定しようとするものとの説明。
問 今回、崎森地区公民館を西原地区自治公民館へ直接指定した理由は何か。
答 条例公民館をもっと使いやすくできないかという地域の声を受けて、崎森地区公民館と協議した。西原地区は公民館を持たないため、同自治公民館の管理とした。

75歳以上の医療費負担原則2割化に反対する陳情
(陳情者)
国では、75歳以上の医療費いわゆる後期高齢者医療の窓口負担を、来年から現行の1割から2割に引き上げる議論が始まっていると聞く。現在でも高齢者の医療費負担が、保険料も含めてかなり高く、病気になるっても病院に掛かれないという方々が増えている事実がある。全国保険医団体連合会の資料でも、統計的に高齢者の家計収支は悪化してきている。また、後期高齢者医療制度の低所得者を対象の保険料を最大9割削減する特例措置を外すという議論もあるようだ。高齢者の負担は二重にも三重にも膨れ上がるに危惧している。今回の陳情は、窓口負担の現行維持に対する陳情だが、併せて理解してほしいとの説明。

反対討論
厚生労働大臣の諮問機関である社会保障審議会では何も示されておらず、意見書は時期尚早である。
賛成討論
昨年の当委員会で、同趣旨の陳情を全会一致で採択している。今回の陳情も、現行制度を継続してほしいと内容的にはまったく同じである。